

8/4

地域の明るい未来のために

大田原市区長連絡協議会活動報告



当協議会では研修会を開催し、「災害から地域住民を守る自治会活動」の講演会および乙連沢自治会による事例発表を行いました。災害時の備えや円滑な運営手法について深く学ぶことができ、今後の活動を考える貴重な機会となりました。

また、市民の皆さまから寄付金を募り、「くろばね夏まつり市民花火大会」「佐久山花火大会」の各実行委員会へお届けしました。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後も地域の絆を深める活動を進めてまいります。

8/6

最先端の技術にワクワク！

理工チャレンジ講座in 帝京大学



「理工チャレンジ講座in 帝京大学」を開催し、市内の小中学生と保護者あわせて18名が帝京大学 宇都宮キャンパスを訪問しました。施設見学では、ヘリコプターや航空機を間近にし、児童・生徒はもちろん、保護者の皆さまも熱心に見学していました。

3Dアバター制作体験講座では、自分の動きがリアルタイムで画面上のアバターと連動する最先端技術に挑戦しました。参加者からは「3Dアバターを自分で作れて楽しかった」、「本物を見ることができ感動した」との声が多数寄せられました。理工系の世界に触れ、将来の可能性を大きく広げる実り多き一日となりました。

8/6

森を学び、木と親しむ

令和8年度大田原市森林教室



市役所南別館 2 階会議室において「令和 8 年度大田原市森林教室」を開催しました。午前・午後の部に分かれて、小学生とその保護者を対象に、森林の多面的機能や資源循環(伐る・使う・植える・育てる)を学ぶ「森林の話」と、栃木県産材を使った「木工教室」を実施しました。

参加したこどもたちは、木の香りや手触りを楽しみながら思い思いの作品づくりに取り組み、森林や木材への理解を深める貴重な機会となりました。

8/8

早坂美海さん、企画展に来場！

早坂美海さん「風、薫る」展見学



与一まつりのスペシャルゲストとして参加した俳優の早坂 美海 さんが、道の駅那須与一の郷で開催中の「風、薫る」企画展に来場されました！

同作品で主人公の妹・一ノ瀬安役の早坂さんは、展示を熱心に見学し、「瑞穂屋」のフォトスポットでも記念写真を撮影されました。

10月25日㊥まで開催している企画展は、早坂さんの記念のサインも展示中です。皆さまもぜひ足をお運びください！

8/15

黒羽の夜空を彩る大輪の花火

芭蕉の里くろばね夏まつり開催



撮影場所: 那珂川歩道橋付近

撮影場所: ホテル花月下

お盆時期恒例の「芭蕉の里くろばね夏まつり」が黒羽向町的那珂川河川公園で開催され、市内外から多くの観光客が訪れ、ステージイベントや打ち上げ花火を楽しみました。

会場内はたくさんの露店で賑わい、特設ステージでは、ご当地ヒーローショーや地元の有志によるステージ発表などが行われました。

一時天候が崩れる時間帯もありましたが、花火のころには雨もすっかり上がり、夜空を彩るメッセージ花火や特大スターマインに、大きな歓声が上がりました。

8/21

市内小中学生が大会結果を報告

全国大会・関東大会結果報告会



市内小中学生を対象に、全国大会・関東大会結果報告会を開催しました。

当日は76名が参加し、各大会に出場した選手たちが、これまでの練習の成果や大会での経験、今後の目標などを報告しました。

市長からも選手たちの更なる活躍を期待して激励のメッセージが贈られました。

それぞれの舞台で全力を尽くしたこどもたち。大会での経験をバネに、今後のさらなる飛躍が楽しみです。

8/21

K-1 甲子園全国大会出場を報告

島野 天 選手 市長表敬訪問



K-1 甲子園全国大会への出場を決めた栃木県立大田原高等学校2年の島野 天 選手が、市長を表敬訪問しました。

市長や指導者とともにこれまでの試合を動画で振り返り、大会への意気込みを語りました。

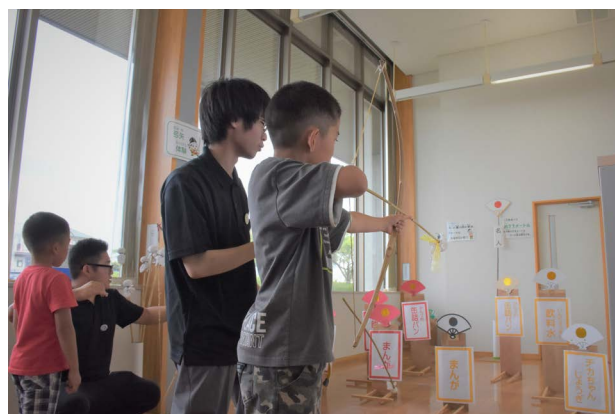
訪問の最後には指導者との力強いミット打ちがサプライズで披露され、鋭い技と迫力ある音に圧倒されました。

大舞台に挑む島野選手の今後の活躍に、ぜひ熱い応援をお願いします。

8/22

遊びの中にヒミツがある
なぜ？から始まる大冒険

おおたわらこどもフェスティバル



元気なこどもの育成と子供会活動の発展を目的として、昨年に引き続き令和8年度もおおたわらこどもフェスティバルを開催しました。

会場内では、液体窒素を使った理科実験教室や、弓矢体験、おこづかいゲーム、親子英語教室、親子で朝食や健康について学ぶブース、自衛隊体験コーナー、移動図書館など遊びと学びの場の提供を行いました。

会場全体にこどもたちの笑顔が溢れ、多くの来場者でにぎわいました。

9/2

9/4

長寿を祝して

敬老祝い記念品の寄贈・贈呈



最高齢：實はなさん

9月2日、市内の肖像画家 益子 学司 氏と増村園芸(南金丸)の増村 英樹 氏が市長を訪問し、市内の高齢者への敬老祝い記念品を寄贈いただきました。益子氏からは市内で2番目に高齢の方へ肖像画を、増村氏からは100歳以上の高齢の方へお花の寄せ植えをご寄贈いただきました。

寄贈いただいた品は、9月4日に今年度100歳以上の敬老祝金対象者のうち、4名の方を市長が訪問しお渡ししました。市からの敬老祝金や記念品のほか、増村氏から寄贈いただいたお花の鉢植えなどを贈呈しました。益子氏から寄贈いただいた肖像画はご家族へ贈呈しました。



◆市長メッセージ 【新たな「風」を未来へ繋ぐ】

市民の皆さま、秋の深まりとともに、実りの季節がやってまいりました。

さて、半年間にわたり放映された2026年前期NHK連続テレビ小説『風、薫る』が、先月末に最終回を迎えました。本市出身の近代看護の先駆者・大関和さんをモデルとしたこの物語は、多くの市民に勇気と感動を与え、改めて私たちの郷土が育んだ偉大な人物に光を当てる貴重な機会となりました。

物語の序盤、大田原の瑞々しい風景の中で描かれた和さんの志は、明治という激動の時代に看護の道を切り拓く大きな力となりました。彼女の根底にあったのは、故郷で培われた慈愛の心と、困難に立ち向かう不屈の精神です。放送は終了いたしましたが、和さんが吹き込んだ情熱という名の「風」は、今も私たちの心に確かな誇りとして吹き続けています。

一つの物語が幕を閉じた今、私たちはその志を継承し、次なる街づくりへと繋げていく必要があります。番組を通じて再確認した郷土の誇りを次なる活力に変え、誰もが希望の風を感じられる大田原の未来を、切り拓いていく決意です。和さんが生涯をかけて願った「人々の健やかな暮らし」を実現するため、誰もが安心して自分らしく輝ける大田原市を、市民の皆さまと共に築いてまいりたいと思います。



大関和記念碑(黒羽田町)

◆市役所からのお知らせ

「マチイロ」で広報おたわらを読もう(多言語対応)

いつでも、どこでも自治体の広報紙をスマートフォンなどで読むことができる「マチイロ」では、英語や中国語など合計13カ国語で広報おたわらを読むことができます。

※詳細は、市HPをご覧ください。

問 情報政策課 本6階 TEL 0287-23-8700



デジタル版「広報おたわら」公開中

広報おたわらの記事内容を、音声で聞くことができます。

「音訳(デージー)版広報おたわら」をご希望の方は、福祉課へお問い合わせください。

※詳細は、市HPをご覧ください。

問 福祉課 本3階 TEL 0287-23-8921

